

木戸八木節保存会は、戦後素人演芸会などの催しが各地で盛んな当時、師匠『故野村六郎氏』と地元青年団を中心に発足しました。一時途絶えましたが、昭和46年9月に木戸八木節愛好会として発足しました。

八木節は農村の五穀豊穣と家内安全を祝うとされています。木戸の八木節は、赤城町持柏木の八木節をアレンジし行っています。

昭和52年に木戸八木節保存会に改名。町の文化祭を中心に、地元会員宅での夏祭りや施設慰問。また各地の催しものなどに参加してきました。

近年は住民の『和』作りと子どもたちの健全育成を願い、子ども会と一緒に隔年の地元夏祭りと、文化協会の芸能発表会を中心に活動しています。

委員長  
副委員長  
委員  
小林 廣嶋五十嵐  
富岡 飯塚  
村越 善  
大志  
静栄 弥一隆  
大志  
憲治  
哲治  
大志

## 編集委員

今後とも、読みやすく、皆様に親しまれる広報となるよう、委員7人で力を合わせていきたいと思います。  
(富岡 大志)

日照不足・低温が記録的で、梅雨うし過ぎる梅雨となりました。さて、4月に町議会議員選挙があり、新議員が4人誕生しました。そして今日は、この4人を迎えた、新体制の議会広報常任委員会による、最初の「議会だより」編集となりました。また本号より、裏表紙が新企画となり、「キラリよしおかげきいき活動」としてスタートしました。委員が町の多様な分野の団体の取材に赴き、皆様からお聞きした活動の様子などをご紹介していきます。

## 編集後記